

報恩講をお勤めします

お彼岸を過ぎ、ようやく清々しい秋の季節になりました。秋晴れの空を見ると、なんとなく気持ちが明るくなりますね。コロナの流行も少し落ち着いてホッと一息といったところででしょうか。

田んぼや畑をされている方にとっては実りの秋を迎えてお忙しくされているかもしれません。頭を垂れていた稲穂が刈り取られた風景を見ると、「秋が来たなあ」と感じます。

職場に向かう山あいの道端に栗の木があります。朝、通りかかったときに栗のイガが落ちていたので、覗いてみるのですが、どれも中身がありません。



ん。時々リスを見かけるので、人が採っていったのか、動物が採っていったのかわかりませんが、人間にとっても動物たちにとっても実りの秋はありがたいものですね。

十月は報恩講の季節です。今年は3年ぶりに布教使さんに来ていただいて大速夜で法話をいただきました。講師は大阪府高槻市一念寺の保田正信さんです。お楽しみに！ なお、夜座は住職がLGBTについてお話しします。まだまだコロナの完全終息とは言えませんが、どうか皆さま、感染対策をしてお参りください。心の実りの秋を満喫しましょう。(住職)

報恩講のご案内

10月29日(土)

大速夜 午後1:30

勤行 正信偈(宗祖鑽仰作法)

法話 保田 正信さん(大阪)

お初夜 午後7:30

勤行 初夜礼賛

講話 住職

10月30日(日)

満日中 午前9:30

勤行 正信偈

挨拶 住職

すすはき

10月22日(土) 8時半

お世話様ですが、短時間で終わりたいと思いますので、よろしくお願ひします。

なお、すすはき当日に下記をご持参くださいますようお願いいたします。

後期経常費	15,000 円
お鏡代他	2,000 円
合計	17,000 円

十月 神無月	
一日(日)	山科別院奉仕作業
二日(土)	すすはき(別掲)
二八日(金)	お花たて・募約(役員・年行司)
二九日(土)	報恩講
三〇日(日)	報恩講(別掲)

報恩講のお勤め

覚浄寺では、報恩講のお初夜に「初夜礼讃偈」というお勤めをしています。中国の高僧で、七高僧の一人でもある善導大師が記された「往生礼讃偈」の一つです。毎日の日課として、日没(午後4時)、初夜(午後8時)、中夜(0時)、後夜(朝4時)、晨朝(朝8時)、日中(正午)の一日6回お勤めをすることをお示しくさせていただきます。そのうちの初夜(夜6時)にお勤めし、阿弥陀さまの教えをいただく私たちに、日頃の行いを見つめ、お念仏を唱えましょう、と教えてくださっているのが初夜礼讃偈で、声明という独特の節をつけてお勤めします。「西方・・・」と繰り返し、テンポ良くお勤めする箇所や、「無常偈」という、しみりとした導師のソロパートもあります。「偈」とは歌のこと。難しいですが、音楽と同じように声明を楽しみましょう。

年行司さんお世話様です

年行司さんは報恩講で引き継ぎ交代となります。次は、馬場 徹さん、倉内英治さん、安居智紀さんです。お世話様ですがよろしくお願ひします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ



見えぬけれどもあるんだよ
見えぬものでもあるんだよ

詩人、金子みすゞさんの詩「星とたんぽぽ」の一節です。

青いお空のそこふかく、
海の小石のそのように、
夜が来るまでしずんでる。
昼のお星は目に見えぬ。
見えぬけれどもあるんだよ。
見えないものでもあるんだよ。
ちってすがれたたんぽぽの、
かわらのすきに、だあまって、
春が来るまでかくれてる、
強いその根は目に見えぬ。
見えぬけれどもあるんだよ。
見えぬけれどもあるんだよ。

先日、普通に歩いていて、ガレージの角に激突しました。一瞬のことで何が起ったかわからず、気がついたら道端にひっくり返っていました。幸い、オデコを切って軽い出血とコブが

できただけで済んだのですが、前を向いて歩いていたにもかかわらずぶつかってしまったのはちよつとショックでした。

念のため眼科で診てもらったところ、視野の一部が見にくくなっていました。数年前に白内障の手術を受けて、比較的良く見えるようになっていたのですが、もともと強度の近視だった影響で角膜が損傷しており、その部分は治らないそうです。ところが人間の眼はよくできていて、視覚が脳に伝わり、ちゃんと見えているかのよう錯覚してしまうのだそうです。つまり、自分では全部見えていると思っているのに、実は見えていないということが起こっていました。

◆
仏様の慈悲の目は、どんなところにも届くと言います。しかし私たちの目は、煩惱に遮られて真実の見分けもつかない存在です。せめて、怪我をしないように謙虚でありたいと思います。

★住職の星案内★

ようやく秋になりましたが、夜の星空は早くも冬の星座が昇ってきました。トップバッターはおうし座で、有名な「すばる(プレアデス星団)」が東の空に輝いています。散開星団とよばれる星の集まりで、星の赤ちゃんが誕生する場所と言われています。若い星は青く輝くので、宇宙空間にただよふガスも青く輝いています。六連星(むつらばし)と呼ばれていて、視力の良い人なら、肉眼で6個くらいの星を見分けられるそうです。光害が少ない暗いところでみるともつとたくさんの星を見ることが出来ます。双眼鏡などがあれば、とてもきれいに見えますよ。そして、少し左に目を向けると火星が明るく見えています。秋の夜長、空を見上げてみませんか。



くじクイズ QUIZ

仏教の宗派名と、その宗派のお寺を船で結んでください。

- | | | |
|------|---|------|
| 天台宗 | ・ | 永平寺 |
| 臨済宗 | ・ | 東大寺 |
| 曹洞宗 | ・ | 永源寺 |
| 浄土真宗 | ・ | 知恩院 |
| 浄土宗 | ・ | 金剛峯寺 |
| 華嚴宗 | ・ | 延暦寺 |
| 真言宗 | ・ | 本願寺 |

先月号の答え

- ① 名月を とつてくれろと (なく子) かな 一茶
- ② 柿食えば 鐘がなるなり (法隆寺) 正岡子規
- ③ 奥山に もみじ踏みわけ (なく鹿) の 声きく時ぞ 秋は悲しき 猿丸大夫
- ④ 秋深き(となり)は何を するひとぞ 芭蕉
- ⑤ 月影のいたらぬ里はなけれども ながむる人の(心)に 法然聖人

